

また、会えたね!



©2022 Hayao Miyazaki/Toshio Suzuki

2024 3/20 (水祝) ▶ 6/18 (火)

横須賀美術館

YOKOSUKA MUSEUM OF ART

本展覧会は事前予約制(日時指定)です。ローソン・ミニストップ店舗 Loppiまたはローチケで
ご予約・発券の上、ご来場ください。[Lコードは裏面]

休館日: 4/1(月)、5/13(月)、6/3(月)

開催時間: 10:00~18:00(入館は17:30まで)

※ただし4/27(土)~5/6(月休)は10:00~20:00(入館は19:30まで)

主催:「鈴木敏夫とジブリ展」神奈川展開催委員会(トライアングル、横須賀市、ローソンエンタテインメント、神奈川県、横須賀市観光協会、JTB横須賀支店)

特別協賛: おもしろいほうの未来へ au 神奈川展特別協賛: 京急電鉄、京浜急行バス 特別協力: スタジオジブリ、日本テレビ

企画協力: ムービック・プロモートサービス、博報堂DYメディアパートナーズ 展示協力: ア・ファクトリー

協賛: ジェイコム湘南・神奈川、神奈川新聞社、tvk(テレビ神奈川)

後援: 横須賀商工会議所、横浜銀行、かながわ信用金庫、湘南信用金庫、神奈川県観光協会

全国7か所を巡ってきた
あのジブリ展が
いよいよ
神奈川で開催！

貴重な資料や企画書、
立体造作物を含むフォトスポット。
さらに本展のために制作された
展覧会オリジナルグッズが多数登場！



ここにくれば、
ジブリがもう一度
見たくなる



《映画をつくる人間も、最初は観客だった》

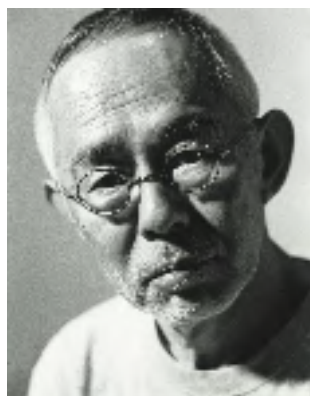
高畑勲・宮崎駿両監督と共に、世界を代表する数々のアニメーション映画を世に送り出してきたスタジオジブリ・プロデューサー鈴木敏夫。

本展では、戦後の名古屋で育ち昭和、平成、令和の時代を駆け続けている鈴木敏夫が出会った多くの映画作品、書籍と、それを通して見えてくる時代背景に注目しました。鈴木が幼少期と激動の時代に「体験」した数多くの映画作品をぎっしり集めた空間も！

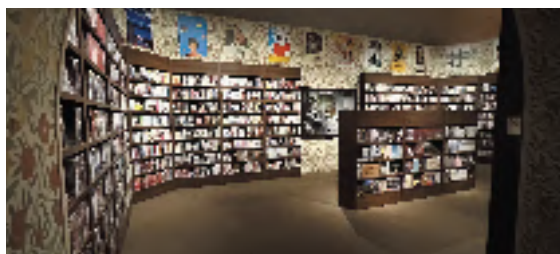


トトロ
湯婆婆
銭婆
も
会える！

© Toshio Suzuki © Studio Ghibli



撮影：荒木維雄



鈴木敏夫（すずき・としお）1948年、愛知県名古屋市生まれ。スタジオジブリ・プロデューサー。慶応義塾大学文学部卒業後、徳間書店入社。「アニメージュ」の創刊に参加し、副編集長、編集長を務めるかたわら、高畑勲・宮崎駿作品の製作に関わる。1985年にスタジオジブリの設立に参加、1989年からスタジオジブリ専従。以後ほぼすべての劇場作品をプロデュースする。

本展覧会は事前予約制(日時指定)です。
3月Lコード 4月Lコード 5月Lコード 6月Lコード
ローソン・ミニストップ店頭 Loppi または
30171 30172 30173 30174
ローチケでご予約・発券の上、ご来場ください。

2024年 3/20(水祝) ▶ 6/18(火)
開催時間：10:00～18:00(入館は17:30まで)
※ただし4/27(土)～5/6(月祝)は10:00～20:00(入館は19:30まで)

観覧料 一般：2,000円(税込) ※中学生以下、横須賀市内在住・在学の高校生は無料

※団体割引はございません。
※身体障害者手帳・療育手帳または精神障害者保健手帳をお持ちの方と付添の方1名様は無料です。
※無料の方も、事前予約が必要です。その際、各種手数料がかかります。
※「鈴木敏夫とジブリ展」の観覧券で、谷内六郎館もご覧いただけます。(ただし18時まで)
※他の企画展は、別途観覧券が必要です。

問い合わせ先 横須賀市コールセンター 046-822-4000(月～金曜日8:00～18:00、土日・祝日休日は～16:00)

横須賀美術館

YOKOSUKA MUSEUM OF ART
〒239-0813 神奈川県横須賀市鴨居4-1 TEL 046-845-1211
<https://www.yokosuka-moa.jp/>

■交通案内
※駐車台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関等のご利用をお願いします。
○京急線馬堀海岸駅1番乗り場から京急バス観音崎行き(須24、馬24)で約10分、「ラビスタ観音崎テラス・横須賀美術館前」下車、徒歩約2分。
○京急線浦賀駅1番乗り場から京急バス観音崎行き(浦3)で約15分、終点「観音崎」下車、徒歩約5分。
○JR横須賀駅3番乗り場から京急バス観音崎行き(須24)で約35分、「ラビスタ観音崎テラス・横須賀美術館前」下車、徒歩約2分。

